



主要観光行事

全日本農はだてのつどい
2月の第2土曜日
開催場所
胆沢町内

焼石連峰山開き
5月の最終日曜日
開催場所
焼石山登山口

●全日本農はだてのつどい

当コースのお問い合わせ・ご連絡先
岩手県胆沢町商工観光課

〒023-0401 胆沢町南都田字加賀谷地270
☎0197-46-2111

主な興味地点

●旧仙北街道

このコースと交差する国道397号線は、坂上田村麻呂の胆沢城築城に伴い陸奥と出羽を結ぶ交易ルートとしてにぎわった「仙北街道」と軌を一にしています。

道の両側は桜並木となっていて、春には桜が満開となり、さながら桜の回廊の風情を醸し出します。

平成7年には、「銀色の道」として命名され、四季を通じた美しい並木道として親しまれています。



●散居集落

衣川村から歩きだし胆沢町上萩森を過ぎると広大な胆沢扇状地が目に入ります。

胆沢町は、胆沢川によって開けた扇状地で、早くから米づくりが行われ、東北有数の穀倉地帯として発展してきました。

屋敷林（えぐね）に囲まれた家々が水田のなかに点在する散居風景は、日本の原風景として高い評価を受けており、町では、自然生態系に配慮しながら散居の景観を活かした美しいまちづくりを進めています。

毎年2月の第2土曜日に行われる「全日本農はだてのつどい」には、庭田植え、日本一の大きな臼による餅つき、大きな福俵引きなど農業に着目した伝統的な行事が開催されます。



新・奥の細道

NEW
OKUNOHOSOMICHI
IRAWA

東北自然歩道 (胆沢平野を望むみち)

環境庁・岩手県

5



このコースは、起点の衣川村大平から胆沢町の下鹿合に至る全長約7.4kmの自然歩道です。このコースと交差する国道397号は、その昔、陸奥と出羽を結ぶ交易ルートとしてにぎわった「仙北街道」で、道の両側に植えられた桜並木は「銀色の道」として名付けられ、四季を通じた美しい並木道として親しまれています。周辺は広大な水田地帯で、山城跡の鹿合館に登ると胆沢平野が一望でき、全国でも数少ない散居集落の農村風景を見ることができます。

(Course Time)

起点・大平	1.3km 25分	漆の里増沢	1.5km 32分	上萩森	2.2km 35分	上萱刈窪	1.2km 20分
衣の滝							
上愛宕	0.8km 12分	山城鹿合館跡公園	1.1km 18分	下鹿合・終点			



Course Map

1
25,000



【この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の25,000分の地形図を複製したものです。
(承認番号 平10基地第 504 号)】